

表彰状

有限会社 大里建設

代表取締役 大里光明 殿

貴社は当支部会員として産業
安全衛生の重要性を深く認識し
職場の労働災害防止に努め
永年無災害の成績をあげた
ことは他の模範と認められます
仍って第三十回八重山地区安全
大会を執り行うにあたりその
功績を讃え記念品を贈呈し
表彰します

令和四年六月八日

八重山地区安全大会

大会長 宮良博文



つばかけ
祭2022
舞の祭典」

れ、地元団体の出演を呼びかけた。国文祭は「文化の国体」と呼ばれており、沖縄県では初開催となる。期間中は本民謡協会の「八重山民謡保存会」が、八重山

本民謡協会の榎本秀水事務理事と佐々木勝弘理事ら。実行委員会事務局とともに開催に向けた動きや地元の参加団体拡充の方向性など



表彰を受けた大里建設の大里光明代表(左)とサンシャインの赤城賀子社長＝8日午後、石垣市民会館中ホール



第30回八重山地区安全大会に参加した関係者ら＝8日午後、石垣市民会館中ホール

八重山地区安全大会

「安全は怠りなく焦らず怠らず」を全国安全週間のスローガンに、2022年度第30回八重山地区安全大会(沖縄県労働基準協会八重山支部など主催)が8日午後、石垣市民会館中ホールで開かれた。建設関係者ら約100人が参加し、安全確認の徹底と労災ゼロ実現に向け決意を新たに誓った。

大会は規模を縮小し3年ぶりに開催された。冒頭で建設防沖縄県支部八重山分会安全指導員らによる指差

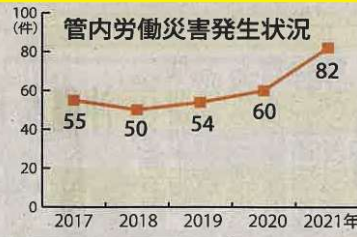
唱和が行われた。宮良博文大会実行委員長は「コロナ禍でも全ての人々が安心して働き続けられるよう労災ゼロの実現を目指すことは重要。八重山地区の労働災害の特徴を踏まえ、事業者・労働者双方で

労災ゼロに決意新たに
模範となる2社表彰

模範となる2社表彰

労災防止の基本ルールを徹底し実行して「こう」と呼びかけた。八重山労働基準監督署の上原周署長は「具体的・有効的な改善助言を行い八重山地区の安全運動を推進していく所存。スローガンを心に刻み、より一層の安心・安全な職場づくりに取り組んでいこう」とあいさつした。

安全衛生面における成績が極めて高い水準に達し、他の模範と認められる事業所として(尚)大里建設(大里光明代表取締役)と(株)サンシャイン(赤城賀子代表取締役社長)が表彰された。



労災事故最多の82件
第三次産業が過半数占める

八重山労働基準監督署管内で2021年の1年間に発生した休業4日以上の労働災害事故は82件(前年比22件増)だった。死傷事故は19件と、交通

保でシマフサラシ
「病息災」「コロナ撃退」祈願

